



寄水源林

# 新町長の町政運営を無為無策の二年にしない為、次の点について問う



質問者  
大館 秀孝 議員

① 選挙公約を確実に実現するため、どのような取り組みをされるのか？  
町の広報・選挙のビラ等で、交付税に頼りすぎない町政運営を目指すと云っているが、どのような財源・手法を考えているのか？

② コンプライアンスについての考え方は？  
みずほ銀行・阪急阪神ホテル・徳田事件等が世間で話題になっているが、コンプライアンスの欠如によるものと思うが、町長の考え方は？

**A**

**施策の財源は町民の税金で賄うことが基本**

回答（町長）

① 町の財政は、「地方交付税や臨時財政対策債なし」で考えられるものではないと、私も認識している。自治という本旨



質問者  
廣瀬 幸男 議員

# 町長の公約「本山ひろゆき通信」の実現について問う

からすれば、「施策の財源は町民の税で賄うことが基本」であると考えている。「地方交付税で補てんされるから」といった考え方は、交付税に頼りすぎた状態であると思っている。先進的な施策展開を考慮すると、他の自治体に遅れをとってしまつのではという考えから、交付税に頼りすぎた

自治体からの脱却を目指していく。  
② 法令遵守は、地方公務員法第32条に「職員は、その職務を遂行するため法令・条例・地方公共団体の規則及び規定に従う」とされていることが、大原則と考えている。なお、内部告発者保護規定も整備されている。

**A**

**寄スマートエコタウン構想は専門委員会を設置**

回答（町長）

① 寄スマートエコタウン構想にある「再生可能エネルギー」への取り組みについて  
② 財源を増やす取り組みについて  
③ 住民の立場に立った防災について  
以上の具体的な政策をお伺い致します。

① 寄スマートエコタウン構想は、前提として台風や大地震等により寄地域が孤立した時に、太陽光発電や蓄電池ユニットと連携し、中津川の高低差を生かした小水力発電等を検討する。また、今年度松田中学校の屋上に太陽光発電システムを導入する。さらに、来年度は寄中学校屋上に設置できるよう検討する。  
② 優先順位を決めた財



中津川

政運営を進めるが、一般財源を増加させるために町税収入を増やすこと、特に生産年齢人口の増加を図ることが肝要と思う。そのために、第5次総合計画に掲げた平成30年の生産年齢人口6,700人を確保したい。  
③ 職員給与等の減額措置によって生じた人件費相当分を原資に、地域避難所等の耐震診断を実施したい。